

愛知県感染症情報

AICHI Infectious Diseases Weekly Report

2019年28週 (7月2週 7/8~7/14)

2019年6月報

愛知県感染症情報センター (愛知県衛生研究所内)

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansen.html>

E-mail: eiseiken@pref.aichi.lg.jp

連絡先: 052-910-5619 (企画情報部)

今週の内容

トピックス

手足口病、ヘルパンギーナ、伝染性紅斑、麻しん、エボラ出血熱に関する緊急事態宣言、夏休みの海外渡航者に対する感染症予防啓発、蚊媒介感染症並びにダニ媒介感染症の予防啓発

病原体検出情報

定点医療機関コメント

手足口病、感染性胃腸炎、ヘルパンギーナ、A群溶血性レンサ球菌感染症、伝染性紅斑、RSウイルス感染症、咽頭結膜熱等

全数把握感染症発生状況 ()内は件数。

結核(39)、腸管出血性大腸菌感染症(8)、レジオネラ症(3)、アメーバ赤痢(1)、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症(4)、急性脳炎(1)、クロイツフェルト・ヤコブ病(1)、劇症型溶血性レンサ球菌感染症(1)、後天性免疫不全症候群(3)、侵襲性肺炎球菌感染症(3)、梅毒(13)、破傷風(1)、百日咳(22)、麻しん(1)

2019年6月報

定点把握感染症報告数 (保健所別、年齢別)

○「グラフ総覧」は <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.pdf>

トピックス

◆手足口病 (図1) 【7月4日警報発令】

28週の定点当たり報告数は16.05で、1999年から2018年までの最高値(2017年31週の12.51)を更新しました。27週1,776人→28週2,921人(1.64倍)です。

【参考ページ】手足口病警報を発令します!! (7月4日発表)

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kenkotaisaku/hfmd-20190704.html>

手足口病に関するQ&A (厚生労働省)

<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansen/shou19/hfmd.html>

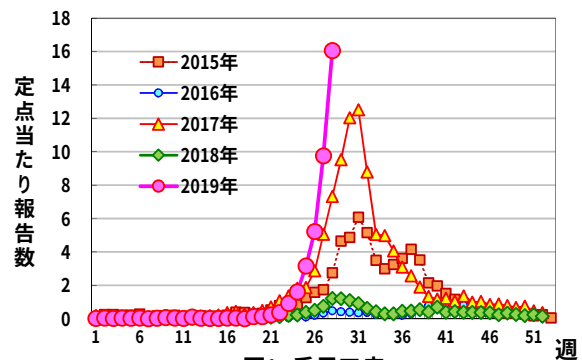


図1 手足口病

◆ヘルパンギーナ

28週の定点当たり報告数は3.19、27週351人→28週581人(1.66倍)です。

◆伝染性紅斑

伝染性紅斑はヒトパルボウイルスB19の感染による「リンゴ病」とも呼ばれることもある疾患です。28週の定点当たり報告数は1.18、27週199人→28週214人(1.08倍)です。

◆麻しん (図2) (7月17日現在、診断日集計)

愛知県の2019年麻しんの累積報告数は40件(うち4月5件、5月3件、6月1件、7月1件)です。愛知県の2018年麻しんの総報告数は37件、2017年総報告数は1件でした。全国の2019年27週(診断週)までの累積報告数は654件、2018年の総報告数は282件です(2017年総報告数は186件)。

【参考ページ】名古屋市：市内における麻しん(はしか)の発生状況(7月17日更新)

<http://www.city.nagoya.jp/kurashi/category/8-4-3-9-0-0-0-0-0-0.html>

本県における麻しん・風しん患者発生報告状況(2019) http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/msl/msl_2019.html

疾患別ウイルス検出状況 <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/prompt.html>

麻しん・風しんの予防接種は2回受けましょう http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/hi_4.html

風しん抗体検査とワクチン接種のお知らせ <https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kenkotaisaku/0000070318.html>

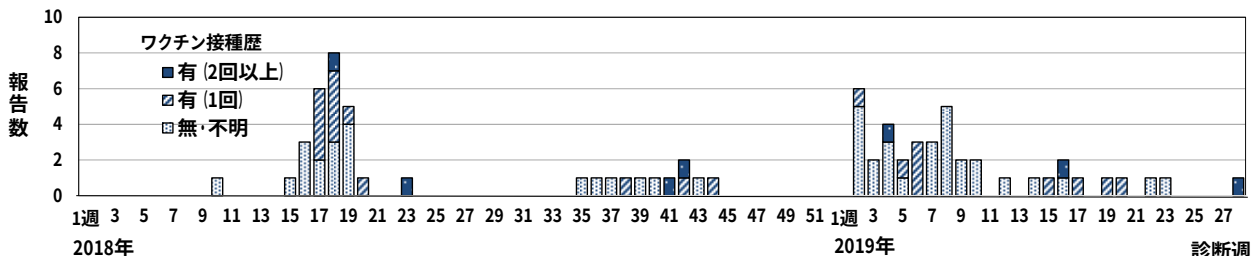


図2 愛知県週別麻しん報告数(2018年1週~2019年28週(診断週、7月17日現在))

◆コンゴ民主共和国におけるエボラ出血熱に関する世界保健機関(WHO)の緊急事態宣言について

【参考ページ】コンゴ民主共和国におけるエボラ出血熱に関する世界保健機関(WHO)の緊急事態宣言(厚生労働省)

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_05795.html

エボラ出血熱について(厚生労働省) <https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708.html>

◆夏休みの海外渡航者に対する感染症予防啓発について

【参考ページ】夏休みの海外渡航者に対する感染症予防啓発について(厚生労働省)

<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000524734.pdf>

海外へ渡航される皆さまへ!(厚生労働省検疫所) <https://www.forth.go.jp/news/20190409.html>

◆蚊媒介感染症並びにダニ媒介感染症の予防啓発について

【参考ページ】蚊媒介感染症(厚生労働省) <https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164483.html>

ダニ媒介感染症(厚生労働省) <https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164495.html>

病原体検出情報 —2018年疾患別ウイルス検出速報— (2019年7月15日現在)

	感染性胃腸炎	手足口病	ヘルパンギーナ	咽頭結膜熱	流行性角結膜炎	無菌性髄膜炎	脳炎・脳症	* インフルエンザ		** 麻しん・風しん
								2018/2019 シーズン	2017/2018 シーズン	
患者数	308	48	41	10	3	34	20	521	574	82(143)
CV-A2	1	-	7	-	-	-	1	-	-	-
CV-A4	-	-	3	-	-	-	1	-	-	-
CV-A6	-	6	1	-	-	-	-	-	-	-
CV-A10	-	1	5	-	-	1	-	-	-	-
CV-A16	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
EV-71	1	10	-	-	-	1	-	-	-	-
CV-A9	2	-	-	-	-	2	-	-	-	-
CV-B1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0(2)
CV-B2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	0(1)
CV-B3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0(1)
CV-B4	7	1	1	-	-	1	-	-	-	3(3)
CV-B5	9	3	3	-	-	6	2	2	1	3(7)
CV-B6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0(1)
E-3	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
E-6	-	-	-	-	-	1	-	-	3	2(0)
E-11	5	-	1	-	-	3	1	-	-	1(0)
E-18	-	-	-	-	-	2	-	-	-	0(1)
E-25	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
HRV	2	4	3	-	-	3	3	-	1	5(10)
HPeV-1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	0(1)
HPeV-3	-	-	2	-	-	1	-	-	-	-
Flu AH1pdm09	-	-	-	-	-	-	-	134	77	0(1)
Flu AH3	-	-	-	-	-	-	-	198	179	-
Flu B(Vic)	-	-	-	-	-	-	-	40	16	-
Flu B(山形)	-	-	-	-	-	-	-	3	223	1(1)
MeV	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4 [#] (5)
HMPV	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
RUBV	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9(30 [§])
Reo-2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RV-A G1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RV-A G2	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RV-A G3	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RV-A G9	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-
NV-GI	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
NV-GII	111	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SV	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-
AstV-1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Ad-1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
Ad-2	7	-	1	5	-	-	-	-	1	1(0)
Ad-3	4	-	-	3	1	-	-	-	-	1(0)
Ad-5	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Ad-31	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Ad-41	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Ad-54	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
Ad-NT	1	-	-	-	1	-	-	-	1	-
B19V	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3(6)
検査中	1	0	0	0	0	0	0	39	0	0(0)
陰性	115	22	15	0	0	14	14	105	72	51(76)

*インフルエンザは2018/2019 (2018年9月～) 及び2017/2018シーズンの結果

**麻しん・風しんの()内は病原体定点医療機関外からの患者数の別掲

: ワクチン株1名 § : ワクチン株1名 †NT: 未型別

略: ウイルス名

Ad: アデノウイルス、AstV: アストロウイルス、B19V: ヒトパルボウイルスB19、CV: コクサッキーウイルス (Cox.)、

E: エコーウイルス、EV: エンテロウイルス、FluAH1pdm09: インフルエンザウイルスAH1pdm2009、

FluAH3: A香港型インフルエンザウイルス、FluB(Vic): B型インフルエンザウイルス (ビクトリア系統)、

FluB(山形): 同 (山形系統)、HMPV: ヒトメタニューモウイルス、HPeV: ヒトパレコウイルス、HRV: ライノウイルス、

MeV: 麻しんウイルス、NV: ノロウイルス、Reo: レオウイルス、Rota A: ロタウイルスA、RUBV: 風しんウイルス、

SV: サボウイルス

病原体検出情報 — 2019年疾患別ウイルス検出速報 — (2019年7月15日現在)

	感染性胃腸炎	手足口病	ヘルパンギーナ	咽頭結膜熱	流行性角結膜炎	無菌性髄膜炎	脳炎・脳症	* インフルエンザ 2018/2019 シーズン	** 麻しん・風しん
患者数	124	18	7	4	0	8	14	521	81(94)
CV-A6	-	-	-	-	-	-	-	-	0(1)
CV-A16	-	2	-	-	-	-	-	-	-
CV-B5	-	-	-	-	-	-	-	2	1(0)
E-6	-	-	-	-	-	-	-	-	1(0)
E-11	-	-	-	-	-	1	2	-	1(1)
HRV	-	1	1	-	-	-	2	-	-
Flu AH1pdm09	-	-	-	-	-	-	1	134	-
Flu AH3	-	-	-	-	-	-	-	198	1(0)
Flu B(Vic)	-	-	-	-	-	-	1	40	1(0)
Flu B(山形)	-	-	-	-	-	-	-	3	1(0)
MeV	-	-	-	-	-	-	-	-	12 [#] (18 ^{\$})
MuV	-	-	-	-	-	-	-	-	0(1)
RSV	-	-	-	-	-	-	1	-	-
RUBV	-	-	-	-	-	-	-	-	7(11)
RV-A G8	26	-	-	-	-	-	-	-	-
RV-A G9	3	-	-	-	-	-	-	-	-
NV-GII	45	-	-	-	-	-	-	-	-
Ad-1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
Ad-2	3	-	-	-	-	-	-	-	-
Ad-5	-	-	-	-	-	-	-	-	1(0)
Ad-41	13	-	-	-	-	-	-	-	-
B19V	-	-	-	-	-	-	-	-	9(8)
検査中	26	16	5	3	0	3	0	39	14(16)
陰性	22	0	1	1	0	4	8	105	34(39)

*インフルエンザは2018/2019シーズン(2018年9月～)の結果

**麻しん・風しんの()内は病原体定点医療機関外からの患者数の別掲

: ワクチン株1名 \$: ワクチン株2名

略: ウイルス名

Ad: アデノウイルス、B19V: ヒトパルボウイルスB19、CV: コクサッキーウイルス(Cox.)、E: エコーウイルス、FluAH1pdm09: インフルエンザウイルス、AH1pdm2009、FluAH3: A香港型インフルエンザウイルス、FluB(Vic): B型インフルエンザウイルス(ビクトリア系統)、FluB(山形): 同(山形系統)、Rota A: ロタウイルスA、HRV: ライノウイルス、MeV: 麻しんウイルス、MuV: ムンプスウイルス、NV: ノロウイルス、RSV: RSウイルス、RUBV: 風しんウイルス

定点医療機関コメント（名古屋市除く）

尾張西部地区

- 先週分から
6歳 19歳 腸炎 カンピロバクター検出
【一宮市 あさのこどもクリニック】
- 手足口病、伝染性紅斑あり
【一宮市 後藤小児科医院】
- 便ロタウイルス 1例
便ノロウイルス 1例
【一宮市 ささい小児科】
- 感染性胃腸炎と手足口病が少し増えてきました。
【稲沢市 こどものお医者さんおがわクリニック】
- 手足口病多発しています。
ヘルパンギーナも流行しています。
インフルエンザB型 1名(9歳女)
【江南市 みやぐちこどもクリニック】
- ヘルパンギーナ、手足口病流行つづいています。
RSも続発
【岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック】
- 手足口病が41→75名とまた、一気に増えました。
ヘルパンギーナは5名、溶連菌も21名と多かったです。
【扶桑町 医療法人 tsukushi つくしこどもクリニック】
- 手足口病、ヘルパンギーナ多いです。
1歳 手足口病で入院
【清須市 丹羽医院】

尾張東部地区

- 手足口病、ヘルパンギーナ流行中
ウイルス性気管支炎多く見られます。
その他伝染性紅斑等
【尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院】
- 手足口病が増えています。
【日進市 みやがわクリニック】
- インフルエンザ陽性報告なし
手足口病が多いです。
【春日井市 春日井市民病院】
- 夏かぜ多数
【春日井市 朝宮こどもクリニック】
- 手足口病が目立ちます。
【小牧市 志水こどもクリニック】
- 手足口病 散発
【南知多町 医療法人大岩医院】
- 手足口病 8名
ヘルパンギーナ 1名
伝染性紅斑 4名
【大府市 まえはらこどもクリニック】
- 手足口病が1～3歳の間で大変多いです。
カンピロバクター腸炎 2名(2歳、11歳)
アデノウイルス感染症 3名(4歳、5歳)
【東海市 もしもしこどもクリニック】

西三河地区

- StrepA(+) 3名
【豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック】
- インフルエンザB型 1名
【岡崎市 栗屋医院】
- 溶連菌感染症、手足口病、ヘルパンギーナが多数。
咽頭結膜熱が散見されます。
【岡崎市 竜美ヶ丘小児科】
- カンピロバクター 8歳女
RSウイルス感染症 2例
手足口病 多数
伝染性紅斑 9例
【岡崎市 花田こどもクリニック】
- 手足口病、ヘルパンギーナが目立ちます。
【岡崎市 医療法人川島小児科水野医院】
- 手足口病流行
水痘も時々います。
【碧南市 永井小児クリニック】
- 溶連菌感染症 9名と多い
【知立市 宮谷クリニック】
- カンピロバクター腸炎 28歳男
依然として手足口病が流行しています。
【西尾市 山岸クリニック】

東三河地区

- 時にRSウイルス感染症の子がいます。
手足口病が大流行しています。
【豊橋市 医療法人こどもの国大谷小児科】
- インフルエンザA なし
インフルエンザB なし
【豊川市 豊川市民病院】
- 病原性大腸菌O1 2歳女
病原性大腸菌 O128 3歳男
【豊川市 ささき小児科】
- アデノウイルス 2名
病原性大腸菌O1 1名
カンピロバクター 2名
マイコプラズマ 3名
【蒲郡市 畑川クリニック】

全数把握感染症発生状況（愛知県全体・保健所受理週別）2019年7月17日現在

一～三類感染症

＜関連リンク＞ 届出基準

● **結核（二類感染症）** <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokedekijun190401.pdf>

報告保健所	2019年28週報告数			2019年総計(1～28週)		
	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者数再掲	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者数再掲
名古屋市	18	4	5	320	73	92
豊田市	1	1		39	3	18
豊橋市	1			40	4	22
岡崎市				14	5	2
一宮	4		2	42	9	14
瀬戸	2	1		71	17	27
半田	1		1	21	6	7
春日井	5		4	62	12	28
豊川				18	2	2
津島	1			42	6	7
西尾				12	1	3
江南				22	2	8
新城				1	1	
知多	3	1	1	29	4	13
清須	1			24	9	5
衣浦東部	2	1		44	11	7
合計	39	8	13	801	165	255

● **腸管出血性大腸菌感染症（三類感染症）**

番号	報告保健所	年齢	性別	発病月日	初診月日	診定月日	備考
1	名古屋市	1歳	女	7/5	7/6	7/9	O157、VT1(+) VT2(+)
2	名古屋市	29歳	女	-/-	7/10	7/10	O103、VT1(+) 無症状病原体保有者
3	名古屋市	25歳	女	-/-	7/9	7/9	O157、VT2(+) 無症状病原体保有者
4	岡崎市	30歳	女	6/29	7/3	7/12	HUS発症例
5	豊川	67歳	女	7/2	7/5	7/8	O157、VT2(+)
6	豊川	32歳	男	-/-	7/10	7/13	O157、VT1(+) 無症状病原体保有者
7	西尾	1歳	女	7/7	7/8	7/10	O157、VT型不明
8	衣浦東部	5歳	男	7/7	7/8	7/9	O血清型不明、VT1(+)

四類・五類感染症（全数把握）（感染経路、感染地域は推定も含む）

● **レジオネラ症（四類感染症）**

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	感染地域
1	豊田市	49歳	男	肺炎型	国内
2	豊橋市	56歳	男	肺炎型	国内
3	一宮	85歳	女	肺炎型	国内

● アメーバ赤痢（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	感染経路	感染地域
1	名古屋市	37歳	男	腸管及び 腸管外アメーバ症	性的接触	国内

● カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	感染経路	感染地域	90日以内の海外渡航歴
1	名古屋市	64歳	男	以前からの保菌	国内	無
2	瀬戸	56歳	男	その他	国内	無
3	豊川	75歳	男	不明	国内	無
4	津島	92歳	女	以前からの保菌	不明	無

● 急性脳炎（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	感染地域
1	名古屋市	9歳	男	病原体不明	国内

● クロイツフェルト・ヤコブ病（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型
1	一宮	60歳	男	古典型

● 劇症型溶血性レンサ球菌感染症（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	感染地域
1	名古屋市	62歳	男	国内

● 後天性免疫不全症候群（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	感染経路	感染地域
1	名古屋市	27歳	男	無症候性キャリア	性的接触	国内
2	名古屋市	38歳	男	無症候性キャリア	性的接触	国内
3	名古屋市	45歳	男	AIDS	性的接触	国内

● 侵襲性肺炎球菌感染症（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	感染地域
1	岡崎市	1歳	男	有	国内
2	津島	64歳	男	不明	不明
3	知多	1歳	男	有	国内

● 梅毒（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	感染経路	感染地域
1	名古屋市	31歳	女	無症候	性的接触	国内
2	名古屋市	48歳	女	早期顕症	性的接触	国内
3	名古屋市	42歳	男	無症候	性的接触	国内
4	名古屋市	47歳	男	早期顕症	性的接触	国内
5	名古屋市	44歳	男	早期顕症	性的接触	国内
6	名古屋市	29歳	女	早期顕症	性的接触	国内
7	名古屋市	36歳	女	早期顕症	性的接触	国内
8	名古屋市	22歳	女	早期顕症	性的接触	国内
9	岡崎市	43歳	男	無症候	性的接触	国内
10	瀬戸	35歳	男	早期顕症	性的接触	国内
11	豊川	21歳	男	早期顕症	性的接触	国内
12	新城	46歳	男	早期顕症	性的接触	不明
13	知多	32歳	女	無症候	性的接触	不明

● 破傷風（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	感染地域
1	豊橋市	72歳	男	不明	国内

● 百日咳（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	感染経路・感染地域等
1	名古屋市	7歳	男	不明	国内
2	名古屋市	10歳	女	有（追加接種有）	家族内感染
3	名古屋市	6歳	男	有（追加接種有）	国内
4	名古屋市	8歳	男	有（追加接種有）	国内
5	名古屋市	6歳	男	有（追加接種有）	家族内感染
6	名古屋市	51歳	男	不明	家族内感染
7	名古屋市	39歳	女	不明	家族内感染
8	名古屋市	0歳	男	無	国内
9	名古屋市	5歳	女	有（追加接種有）	国内
10	名古屋市	49歳	女	不明	国内
11	名古屋市	35歳	男	有（追加接種有）	国内
12	名古屋市	5歳	男	有（追加接種有）	家族内感染
13	名古屋市	42歳	女	不明	家族内感染
14	豊橋市	5歳	女	有（追加接種有）	国内
15	豊橋市	13歳	男	不明	国内
16	一宮	11歳	女	有（追加接種有）	家族内感染
17	一宮	46歳	女	不明	家族内感染
18	一宮	74歳	女	無	家族内感染
19	豊川	10歳	女	有（追加接種有）	国内
20	豊川	14歳	男	有（追加接種有）	家族内感染
21	津島	12歳	女	有（追加接種有）	不明
22	知多	10歳	男	有（追加接種有）	家族内感染

● 麻しん（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	感染地域
1	名古屋市	20歳	女	有	国内

2019年6月報

(2019年7月16日現在、診断週に基づく集計)

6月の一～五類感染症(全数把握対象)発生状況〔()は無症状病原体保有者再掲〕

2018～2019年に報告のあった 疾病名及び病型 () 内は全数把握対象疾病数		2019年6月			2019年	2018年	
		愛知県 (名古屋市除く)	名古屋市	愛知県全体	累計 ＜愛知県全体＞	総計 ＜愛知県全体＞	
一類 (7)	発生報告なし	0	0	0	0	0	
二類 (7)	結核	60 (20)	58 (17)	118 (37)	736 (232)	1,556 (420)	
三類 (5)	コレラ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	
	細菌性赤痢	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (0)	6 (0)	
	腸管出血性大腸菌感染症	10 (0)	1 (0)	11 (0)	47 (9)	154 (46)	
	腸チフス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	
	パラチフス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	2 (0)	
四類 (44)	E型肝炎	0	0	0	2	6	
	A型肝炎	1	0	1	7	35	
	エキノコックス症	0	0	0	0	1	
	オウム病	0	0	0	1	0	
	チクングニア熱	1	0	1	1	1	
	つつが虫病	0	0	0	0	2	
	デング熱	1	0	1	11	22	
	日本紅斑熱	0	0	0	0	1	
	マラリア	0	0	0	0	2	
	類鼻疽	0	0	0	0	1	
	レジオネラ症	14	3	17	65	162	
	レプトスピラ症	0	0	0	0	1	
	五類 (24)	アメーバ赤痢	3	1	4	30	45
		ウイルス性肝炎	0	0	0	3	7
内訳		B型	0	0	0	3	6
		その他	0	0	0	0	1
カルバペネム耐性 腸内細菌科細菌感染症		11	4	15	66	156	
急性弛緩性麻痺 (急性灰白髄炎を除く。)		0	0	0	3	11	
急性脳炎		6	1	7	42	39	
クロイツフェルト・ヤコブ病		1	1	2	2	3	
劇症型溶血性レンサ球菌感染症		1	6	7	28	44	
後天性免疫不全症候群		3	7	10	45	97	
内訳		無症候性キャリア	0	7	7	32	70
		AIDS	2	0	2	11	24
		その他	1	0	1	2	3
ジアルジア症		0	1	1	1	3	
侵襲性インフルエンザ菌感染症		0	1	1	22	33	
侵襲性髄膜炎菌感染症		0	0	0	4	4	
侵襲性肺炎球菌感染症		14	4	18	139	212	
水痘（入院例に限る。)		2	0	2	12	28	
梅毒		11	14	25	171	454	
内訳		無症候	4	4	8	53	125
		早期顕症	7	10	17	114	315
		晩期顕症	0	0	0	4	14
		先天梅毒	0	0	0	0	0
播種性クリプトコックス症		1	0	1	8	17	
破傷風		0	0	0	0	5	
バンコマイシン耐性腸球菌感染症		0	0	0	0	2	
百日咳		42	18	60	313	431	
風しん		2	1	3	48	119	
麻しん		1	0	1	39	37	
総 計		185	121	306	1,852	3,700	

五類感染症(月報定点把握対象)発生状況

	疾病名		2019年6月			2019年 累計	2018年 総計
			愛知県 ＜名古屋市除く＞	名古屋市	愛知県 全体	愛知県全体 合計	愛知県全体 合計
性 感 染 症 定 点	性器クラミジア感染症	男	28	71	99	474	894
		女	35	24	59	793	1,575
	性器ヘルペスウイルス感染症	男	11	10	21	125	242
		女	19	6	25	261	578
	尖圭コンジローマ	男	7	15	22	124	217
		女	6	4	10	160	322
	淋菌感染症	男	9	32	41	265	552
		女	5	1	6	306	630
基 幹 定 点	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		87	6	93	507	984
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		11	4	15	57	120
	薬剤耐性緑膿菌感染症		0	0	0	2	2

感染症法に基づく獣医師からの届出状況

感染症の名称及び動物の種類	2019年6月			2019年 累計	2018年 総計
	愛知県 ＜名古屋市除く＞	名古屋市	愛知県 全体	愛知県 全体	愛知県 全体
エキノコックス症の犬	0	0	0	0	3

感染症の類型及び定義(感染症法)

2018年5月1日現在

類型	定義
一類感染症 (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が極めて高い感染症。患者、疑似症患者及び無症状病原体保有者について入院等の措置を講ずることが必要。
二類感染症 (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が高い感染症。患者及び一部の疑似症患者について入院等の措置を講ずることが必要。
三類感染症 (5疾病)	感染力及び罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性は高くないが、特定の職業への就業によって感染症の集団発生を起こしうる感染症。患者及び無症状病原体保有者について就業制限等の措置を講ずることが必要。
四類感染症 (44疾病)	動物、飲食物等の物件を介して人に感染し、国民の健康に影響を与えるおそれがある感染症（人から人への伝染はない。媒介動物の輸入規制、消毒、物件の廃棄等の物的措置が必要。）
五類感染症 (48疾病)	国が感染症の発生動向の調査を行い、その結果等に基づいて必要な情報を国民一般や医療関係者に情報提供・公開していくことによって、発生・まん延を防止すべき感染症。
新型インフルエンザ等感染症 (2疾病)	インフルエンザのうち当該感染症に対する免疫を獲得していないことから、生命及び健康に重大な影響を与えるおそれのあるもの。新型インフルエンザ（新たに人から人に伝染する能力を獲得したウイルスのよるもの）及び再興型インフルエンザ（かつて世界規模で流行したウイルスによるもの）が平成20年5月12日に指定された。
指定感染症	既知の感染症（一～三類及び新型インフルエンザ等感染症を除く）のうち、一～三類感染症と同程度の危険性を有し、それらに準じた措置を実施しなければ、国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあるもの。一年間に限定した指定。
新感染症	人から人に伝染すると認められる疾病であって、既に知られている感染性の疾病とその病状又は治療の結果が明らかに異なるもので、当該疾病にかかった場合の病状の程度が重篤であり、かつ、当該疾病のまん延により国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあると認められるもの。

2019年28週(2019年7月8日～2019年7月14日)

	定点数						インフルエンザ 定点	小児科定点										眼科定点		基幹定点						疑似症 定点
	インフル エンザ	小児科	眼科	S T D	基 幹	疑似 症	インフル エンザ (鳥インフル エンザ及び 新型インフル エンザ等感 染症を除く。)	R S ウ ィ ル ス 感 染 症	咽 頭 結 膜 熱	A 群 溶 血 性 レ ン サ 球 菌 咽 頭 炎	感 染 性 胃 腸 炎	水 痘	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	突 発 性 発 し ん	ヘル パン ギー ナ	流 行 性 耳 下 腺 炎	急性 出血 性 結 膜 炎	流行 性 角 結 膜 炎	細菌 性 髄 膜炎	無 菌 性 髄 膜炎	マイ コ プ ラ ズ マ 肺 炎	クラ ミ ジ ア 肺 炎 (オウ ム 病 を除 く。)	感 染 性 胃 腸 炎 (病 原 体 が ロ タ ウ ィ ル ス で あ る も の に 限 る。)	イン フル エン ザ に よ る 入 院 患 者	法(※)第14条第1項に規定する 厚生労働省令で定める疑似症
愛知県 (保健所別)																										
愛知県 (名古屋市含む)	195	182	35	54	15	44	14	46	76	287	634	32	2,921	214	75	581	17	0	13	0	2	1	0	0	0	0
総数 (名古屋市を除く)	125	112	24	39	12	28	7	34	57	229	466	22	2,211	166	57	419	11	0	7	0	2	1	0	0	0	0
名 古 屋 市	70	70	11	15	3	16	7	12	19	58	168	10	710	48	18	162	6		6							
瀬 戸 市	9	9	2	3	1	3		1	8	23	31	3	184	13	11	46										
津 島 市	7	7	2	2	1	2			2	12	49		105	19	5	8										
清 須 市	4	4	1	1					2	7	4		18	2		7										
一 宮 市	16	12	3	4	1	2	2	6	3	21	48	3	196	18	5	28		1								
春 日 井 市	9	9	2	3	1	3	1	2	7	17	30	1	158	22		50	1				1	1				
江 南 市	6	6	1	2		2	1	5	4	28	43	2	183	6	2	69	1									
半 田 市	6	6	1	2	1	1				13	37		62	6	2	9	1									
知 多 市	7	7	2	2		3		3		10	29	2	161	11	6	40	2									
岡 崎 市	11	7	2	4	1	2	1	2	8	43	25	1	229	14	8	62	2									
衣 浦 東 部 市	13	13	2	4	1	3		4	9	22	34	8	261	24	6	14		1								
西 尾 市	5	5	1	2	1					6	9	2	107			1	1									
豊 田 市	9	9	2	4	1	4		1	6	10	65		229	6	2	52	2									
豊 橋 市	12	8	2	4	1	2	1	5		7	47		126	2	5	26		1								
豊 川 市	9	8	1	2	1	1	1	5	8	9	12		184	22	5	7	1		4							
新 城 市	2	2			1					1	3		8	1							1					

※感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律

愛知県感染症情報

2019年28週(2019年7月8日～2019年7月14日)

愛知県衛生研究所

	インフルエンザ 定点	小児科定点										眼科定点		基幹定点							疑似症 定点
年齢階層 (名古屋市を除く)	インフルエンザ (鳥インフルエンザ及び新型インフル エンザ等感染症を除く。)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く。)	感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスであるものに限る。)	インフルエンザによる入院患者	法(※)第14条第1項に規定する 厚生労働省令で定める疑似症	
計	7	34	57	229	466	22	2,211	166	57	419	11	0	7	0	2	1	0	0	0	0	
～6ヶ月		6			8		31		2	2											
～12ヶ月		2	3		25	1	246	1	17	34											
0歳																					
1歳		11	10	6	72	4	777	8	27	118	1										
2歳		10	8	15	41	2	479	7	8	84											
3歳		3	9	23	48	1	293	27	1	78											
4歳		2	7	36	43	1	192	27	2	55	3										
5歳			10	41	34	3	101	23		29	2										
6歳	1		1	24	22		40	21		6	1										
7歳			4	26	35	1	16	17		5	4										
8歳				14	16	3	12	7		2											
9歳	2		2	9	12	2	5	9		2											
5歳～9歳																1					
10歳～14歳	2		3	23	39	3	8	15		3											
15歳～19歳				2	15										1						
20歳～				10	56	1	11	4		1											
20歳～29歳													1								
30歳～39歳													2								
40歳～49歳	1												1		1						
50歳～59歳													1								
60歳～69歳													1								
70歳～													1								
70歳～79歳	1																				
80歳以上																					

※感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律